

くまもと市議会だより

いちょう

トピックス

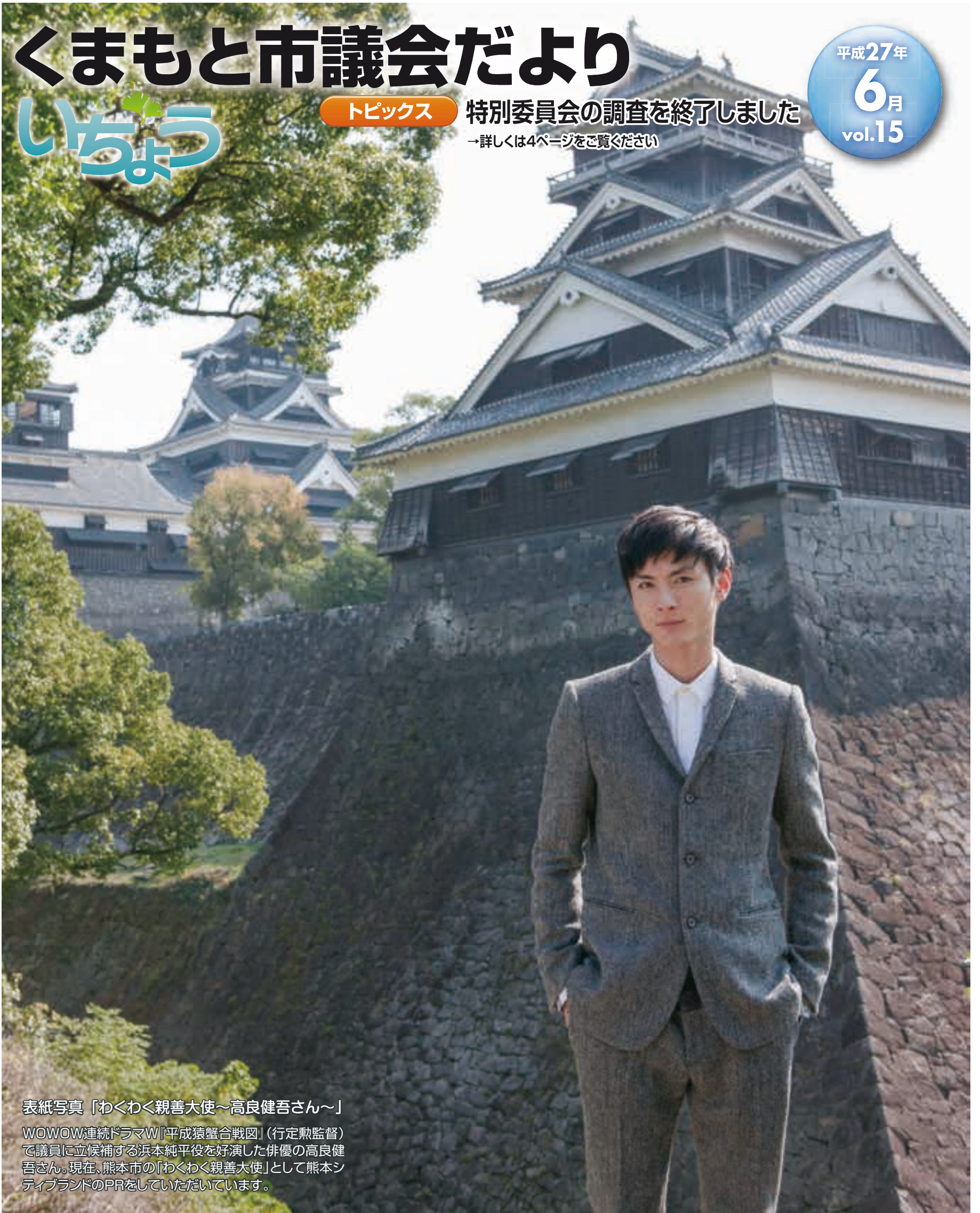
特別委員会の調査を終了しました

→詳しくは4ページをご覧ください

平成27年

6月

vol.15



表紙写真「わくわく親善大使～高良健吾さん～」

WOWOW連続ドラマW「平成猿蟹合戦図」(行定勲監督)で議員に立候補する浜本純平役を好演した俳優の高良健吾さん。現在、熊本市の「わくわく親善大使」として熊本シティブランドのPRをしていただいています。

<http://www.kumamoto-shigikai.jp/> 熊本市議会

検索

<http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai> 熊本市議会公式 facebook

検索

第1回定例会の概要 2/16～3/5 会期 18日間

2月16日 開会 ・提案理由説明	2月26日～ 予算決算委員会・同分科会 部門別常任委員会
2月18日～20日 本会議 ・質問(3日間)	3月3日 予算決算委員会 ・分科会長報告 ・締めくくり総括質疑 ・表決
2月24日～25日 予算決算委員会 ・総括質疑(2日間)	3月5日 閉会 ・委員長報告 ・質疑、討論、表決

提出議案と議決結果

市長提出議案	133 件	…原案どおり可決	133 件	
議員提出議案	10 件	…原案どおり可決	8 件、否決	2 件
請願	2 件	…不採択		
合計	145 件			



主な議案の概要

●平成27年度熊本市一般会計予算を可決

〈主な事業〉

- 町内防犯灯のLED機器への取替え経費助成 ……1500万円
- 中学校の普通教室への空調設置設備設計経費 ……5500万円
- 家庭的保育事業実施のための施設改修費助成及び家庭的保育者等への研修経費 ……580万円
- 生活困窮者に対する自立・家計相談、一時生活、就労準備及び学習支援経費 ……6357万7千円
- 重度障がい者に対する自家用車燃料費助成 ……1140万円
- (仮称)植木地域農産物の駅建築事業関連経費 ……1868万円
- 県民百貨店等の閉店に伴う入居テナントに対する商店街空き店舗への移転に係る改裝費助成 ……1000万円
- 桜町地区再開発事業に対する助成等 ……9億4700万円
- 熊本桜町再開発株式会社に対する貸付金 ……20億円

●平成26年度熊本市一般会計補正予算を可決

〈主な事業〉

- まち・ひと・しごと創生総合戦略策定のための委員会開催及び人口ビジョン策定のための調査経費等 ……1000万円
- 硝酸性窒素削減対策としての家畜排せつ物処理施設整備基本設計等業務委託料 ……1800万円
- 商店街等が行うプレミアム付商品券発行経費に対する助成等 ……5億7000万円

●市民税控除となる寄付金を受け入れる特定非営利活動法人の指定基準を制定

地方税法の改正により、本市が指定するNPO法人に対する寄付金の一定額を、個人住民税から控除できることになり、指定するNPO法人の基準、手続等を定める条例を制定しました。
※このほかの議案などの審議結果は、熊本市議会ホームページをご覧ください。

本会議質問から

第1回定例会では、6人の議員が質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党

質問1 平成27年度当初予算について
市長就任後初めての予算編成は、どのような点に意を用い、どのような分野に大西カラーを出しているのか。

回答 マニフェストを可能な限り盛り込むことで、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向けた第一歩となる予算が編成できた。

坂田 誠二議員

くまもと未来

質問1 市電延伸について
本市のシンボルである環境に優しい市電について、新年度に実施する市電延伸の調査内容及び重要と考えるポイントは。

回答 ハード面だけでなく、運営上の課題等のソフト面を含め、実現化に向けた課題をしっかりと洗い出すことが重要なポイントと考えている。

田中 誠一議員

質問2 MICE(※1) 施設整備の機能について
大規模学会等で不可欠な会食(パンケット)機能が不十分と感じる。整備効果を高めるためにも再検討できないか。

回答 パンケット機能の導入は、必要と考えていたところ。議会からの要望も、再開発会社へ依頼済み。再開発会社は、検討を進められている。

(川尻公会堂)

市民連合

質問1 市長の政治姿勢と市政運営について
「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向け、市長は今後、どのような政治姿勢で市政運営に取り組むのか。

回答 市民ニーズを捉えた市政運営を行い、暮らしやすい都市を実現するため「聞く姿勢・話す姿勢・動かす市政」を心がけ、取り組む。

田尻 将博議員

質問2 川尻地区川尻公会堂の改修整備について
川尻公会堂の従来の姿を残すため、木造補強による工法を取り入れた改修整備の概要と今後のスケジュールは。

回答 地元要望を整理し、施設の機能低下を抑えた木製による補強壁等の耐震工法を基に、27年度設計、28年度改修工事を考えている。

公明党

質問1 地方創生戦略について
人材の確保、周辺市町との連携、子育てしやすいまち及び交流人口増加に向け、今後どのように取り組むのか。

回答 国、市、地域の人材を結集し、連携中枢都市圏構想の推進、子育て環境の充実、MICE誘致などに取り組んでいく。

園川 良二議員

質問2 待機児童対策の保育士確保について
施設整備により保育定員が増えることで保育士不足が懸念される。保育士確保にどのように取り組んでいくのか。

回答 新年度は、これまでの確保策に加え、認定子ども園教諭確保のための免許状取得支援や、子育て支援員の資格取得研修に取り組む。

共産党

質問1 市民病院耐震建替え凍結方針の撤回について
市民病院の建替え凍結方針を撤回し、国と県から財源を確保し、一日も早い着工に向け万全を期すべき。

回答 新たな病院経営改革プランの策定等を通じ、事業費の削減だけでなく長期的な病院経営についても視野に入れ判断する必要がある。

益田 牧子議員

質問2 中学卒業まで子どもの医療費無料化実現を
熊本市圏13自治体で最低水準の医療費助成は、500円の自己負担をなくし、年度途中で中学生まで拡充すべき。

回答 効果的かつ持続可能な制度となるよう慎重に検討を行い、できるだけ早く案を示し、議会や市民の声も伺った上で成案を固めたい。

自由クラブ

質問1 江津湖や中心市街地での花火大会復活を
多くの市民が花火大会の復活を待ち望んでいる。今後、安全対策等に万全を期し、早期実現を求め。

回答 観客の安全確保をはじめ様々な課題の解決を図りながら、今年の8月下旬に下江津湖周辺での開催を目指し、成功に向け全力で取り組む。

北口 和皇議員

質問2 水前寺地域と江津湖公園の一体的な活用を
水前寺から江津湖一帯をスポーツや観光・文化の交流拠点として一体的に整備し、その魅力を国内外にPRすべき。

回答 水と緑の都市くまもと、観光都市くまもとをアピールするため、魅力ある水前寺地域や江津湖周辺の一体的な整備に取り組む。

この用語って何?

MICE(※1) ……企業等が行う会議や研修旅行、国際会議や学会など、多くの集客が見込めるイベントの総称。
ぶら下がり取材(※2) ……会場やホテルなどを使う通常の記者会見とは異なり、記者が取材対象者を取り囲んで行う取材方法。
シンボルプロムナード(※3) ……「車中心」から「人中心」の考え方への転換の象徴として、歩行者空間化する道路(通称シンボルロード)と隣接する建物の壁面が後退することにより生まれる公共的な空間をあわせた総称。
Uターン(※4) ……大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。
社会的包摂機能(※5) ……生活困難を抱えた人間を社会的に排除しないで、社会的に包み込もうというもの。
生活支援コーディネーター(※6) ……生活支援サービスの充実及び高齢者の社会参加に向けて、ボランティア等を養成・発掘するなど地域資源の開発や地域支援の調整を行う者。
ハザードマップ(※7) ……自然災害により発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度などを示した地図。災害予測地図。

予算決算委員会の審査概要

全議員参加により、平成26年度補正予算、平成27年度当初予算及び関連議案について審査を行いました。

総括質疑 (平成27年2月24日、25日)

自民党

質疑1 市長直属機関の設置について
市長マニフェスト実現のためのプロジェクトチームであり、上質な生活都市の実現のための組織として今回設置される市長政策総室の役割と権限ならびに追加予算措置について。

質疑2 地方創生の総合戦略予算について
「プレミアム付商品券」ふるさと名産商品券「割引プレミアム付旅行券」の見込まれる効果と発行額、購入方法や使用方法ならびにふるさと納税の関連は。また、過剰なサービス競争に陥らないための意識ならびに対処は。

質疑3 桜町・花畑地区再開発事業に関して
MICE施設費の9億円増という重大な計画変更をぶら下がり取材(※2)で発表したことは、以前から指摘されてきた情報管理・発信のあり方として非常に問題。重要性の認識を疑う所業であり、本来ならば直後に決定していた議会の当該委員会できちんと発表すべき。このような報道先行による既成事実化は議会制民主主義の根幹を揺るがすものであり到底看過できない。市政の両輪たる議会との最低限の信頼関係を損ねるものでもあり、猛省を促す。また事業認可について十分な説明・審議が済んだとは思えない中、拙速感を禁じ得ないし、事業本体の予算の議会承認は来年度6月予定の議会になるのでこれまで以上の徹底的な精査・検討は必要。いずれにしても、この計画を決めたくまもと都市戦略会議の主体である県、熊本大学を中心に経済界も含め各関係機関と連携を図り、オール熊本体制で取り組むことを強く要請する。

くまもと未来

質疑1 平成27年度予算と今後の財政運営について
市長の考える現在の本市の財政状況と平成27年度当初予算への所感、今後の財政運営の方針と、マニフェスト関連事業実現のスケジュールを聞きたい。

質疑2 児童育成クラブについて
児童育成クラブについては、学校内に設置されていることから、その運営は教育委員会が担うべきではないか。また、指導員については適任者がいない場合は、任用期間の最長10年を超えても働いてもらえるようにすべきではないか。

質疑3 農作物鳥獣被害対策について
農作物鳥獣被害の現状と、要求減額の理由、被害額を抑えるための今後の対応について聞きたい。

質疑4 コンベンション協会への助成について
MICE誘致のためには現行の予算では充実が図れないのではないか。今後、充実にさせていく考えはあるのか。

質疑5 桜町・花畑地域の整備について
桜町・花畑地域の整備について、広場、花畑公園、シンボルプロムナード(※3)、熊本城ホールがそれぞれの予算で整備されていくが、どのような方針で整備していくのか。

市民連合

質疑1 緊急雇用創出事業費補助について
安定的な雇用創出のための具体的な取り組みが必要。雇用創出は、少子化対策としても重要。安定した雇用が生まれにくい限り少子化に歯止めはかからない。

質疑2 Uターン(※4)就職促進経費について
就職者への補助メニューとして、「医療費助成の拡充」や「固定資産税減免」等の支援施策の充実が必要。

質疑3 東アジア関連経費について
海外輸出や観光客の誘致施策は重要。各県九州各都市等と連携し、九州ブランドを確立して、熊本の農産物などの食と観光のPRに向けて取り組むべき。

質疑4 芸術文化を活かしたまちづくり推進経費
市民の多くが参加できるような内容とし、実施にあたっては市民会館や市現代美術館を拠点とし、社会的包摂機能(※5)の充実が必要。

質疑5 学校におけるフッ化物流出口による問題点について
学校での集団フッ化物流出口の事業推進には反対。3歳児検診時で虫歯の罹患率は政令市20市中最低位の中、母親や乳幼児に対する食育等の取り組みが必要。

公明党

質疑1 介護保険制度の改正によるサービスの問題
今回の保険制度改正で、厚労省が最も期待しているのがボランティアの活用と言われている。地域において、ボランティアの質に格差が生じないよう、生活支援コーディネーター(※6)は、27ヶ所の地域包括支援センターを拠点にすることなく、地域コミュニティセンターなどを中心に全校区に配置してほしいかがか。

質疑2 ネットトラブル対策、情報モラル教育経費について
情報モラル教育事業は、事業効果も高いと思うので継続的に実施してもらいたい。

共産党

質疑1 市営住宅の住環境改善について
畳替えや給湯器取り替えなど計画修繕の予算を拡充し、住環境改善を図るべき。また、風呂、洗面台など、バリアフリー化の取り組みを求め。

質疑2 県民百貨店やセンタープラザのテナントへの補償等について
多くのテナントが移転補償も払われない中、営業補償や生活再建を行うよう再開発株式会社にして指導すべき。

市政クラブ

質疑1 人口減少社会に対応した予算編成について
市独自の推計人口を策定するべきでは。

質疑2 MICE・熊本城ホール事業の黒字経営のため
MICE黒字経営のため、アミューズメント施設(水族館・斬新なガーデンパーク)併設を提案したが、大西市長は現計画で黒字経営が可能と思われるか。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。
※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●地域版ハザードマップ(※7)作成
まち歩きなどのワークショップを通じ、住民自身が地域の危険箇所や避難場所等を把握できるなど自主防災の意識向上に有効であることから作成を推進してもらいたい。

●花畑別館執務室移転
耐震改修期限を理由とした移転はその場しのぎの対応である。公共施設の維持管理は、長寿命化につながるよう、予防保全に重点を置いた予算措置を求めたい。

企画審議

●LED防犯灯取替補助事業
LEDの価格が低下したことから、防犯灯をLEDへ取替える補助申請件数が増加しているため、町内自治会の要望に十分な対応ができるよう、予算拡充に努めてもらいたい。

●小・中学校普通教室へのエアコン設置事業
中学校普通教室へのエアコン設置に取り組むとのことであるが、小学校普通教室の設置についても早期に取り組んでもらいたい。

福祉子ども

●子どもの医療費無料化
対象年齢を中学3年生まで早期に引き上げるとともに、現行1回当たり500円の自己負担の無料化も検討してもらいたい。

●障がい者への自家用車燃料費助成
対象を知的障がいに限定しているが、身体・精神障がいも含めるなど助成対象の拡充と、利用実態に応じた助成金額の引き上げを検討してもらいたい。

環境水道

●家畜排せつ物処理施設の整備
東部地域において、硝酸性窒素濃度の上昇により取水停止となっている井戸があることを踏まえ、市民に対し汚染状況等の丁寧な説明を行い、早急に整備してもらいたい。

●食肉センター廃止関連経費
馬と畜機能の代替を担う熊本中央食肉センターの経営が成り立つよう、市の責任として、と畜料金の調整や販路拡大等に積極的に関わってもらいたい。

経済

●商店街プレミアム付商品券発行支援事業
本事業は、消費喚起を目的に交付金により実施されるが、単発事業と予想されることから、本市としてはこれを起爆剤として、継続的に商店街の活性化に取り組んでもらいたい。

●私道の市道への認定要件
住民の利便性確保の観点から、地域の生活道路として定着している私道について、市道への認定が促進されるよう、認定要件の緩和を検討してもらいたい。

都市整備

●市電の延伸への取り組み
これまで議会をはじめ、さまざまな場で提案されてきた。市長公約に基づく今回の検討による進展に期待したい。

締めくくり総括質疑 (平成27年3月3日)

MICE 施設整備、桜町地区再開発事業

- 本再開発事業は、今後も、権利変換計画や保留床取得等、重要な局面を迎えることでもあり、本市と再開発事業者で構成する「桜町地区再開発会議」での再開発事業に関する意思決定に際し、市の意向を事業全体に反映させるとの、強い態度で臨んでもらいたい。
- コンベンション等の誘致に当たっては、政令指定都市に相応しく、かつ、(仮称)熊本城ホールの施設規模に見合った、国内外に本市をアピールできるような、大規模催事の誘致に取り組んでもらいたい。
- 「MICE施設整備事業の精査・再検討に関する報告」において追加設置が提示された中規模ホールについては、利用料金の設定が高額であることから、広く市民の利用につながるとは考えにくく、旧産業文化会館の受け皿としての役割は果たしえないと指摘したい。

●現在策定中の「公共施設等総合管理計画」や、MICE施設整備等大型投資事業に要する費用を中期財政見通しにおいて明示し、市民に対し、財政への影響について説明責任を果たすべきである。

交差点改良について

道路整備プログラムにおいて5ヵ年での整備計画を策定しているものの、新年度予算額では計画期限内の整備完了は困難であることから、今後、必要予算額を確保し早期の整備完了を求めたい。

良質な地下水を次世代へ

水道水の硬度が経年的に上昇している現状を注視し、軟水である本市の良質な地下水を次世代に残すために、早急な調査研究ならびに対策の実施を要請したい。

トピックス 特別委員会の調査を終了しました

特別委員会の調査が、今次定例会をもって終了しました。調査概要は以下のとおりです。

中心市街地の活性化に関する特別委員会

- 【調査目的】 中心市街地活性化およびこれに関する事業の諸問題と対策に関する調査を行うこと
- 【調査期間】 平成23年8月16日～平成27年2月25日
- 【調査概要】
 - 中心市街地活性化基本計画・進捗状況について
 - 2期熊本市中心市街地活性化基本計画(熊本地区)の策定について 城下町の風情を感じられる町並みづくり事業について
 - 熊本市コンベンションシティ基本構想について 桜町・花畑周辺地区まちづくりマネジメント構想について
 - 花畑・桜町地区再開発事業の新たな方向性について MICE整備について
 - 1期熊本市中心市街地活性化基本計画(熊本地区)フォローアップの中間報告について
 - 「桜町再開発事業における新たな集客施設整備検討委員会」における検討状況について
 - NHK熊本放送局の花畑地区移転の進捗状況について
 - 景観審議会(NHK新熊本放送会館・桜町再開発)について 下通A地区優良建築物等整備事業について
 - 桜町地区第一種市街地再開発事業施行認可申請について
 - MICE施設整備の精査・再検討内容について 県民百貨店等の再就職支援等の状況について
 - 桜町・花畑地区再開発事業並びにMICE施設整備事業に関する各党派意見

総合的なまちづくり対策に関する特別委員会

- 【調査目的】 安全で安心な市民生活を実現するための諸問題と災害に強いまちづくりや危機管理対策の強化に関する調査を行うこと
- 【調査期間】 平成23年8月12日～平成27年1月23日
- 【調査概要】
 - 災害予防対策 (1)避難体制 (2)河川・道路、耐震化等
 - 「熊本型の防災対策」地域防災計画の見直し、消防活動、医療体制
 - 「災害発生時の応急対策」災害時要援護者支援、備蓄物資、本市業務継続計画(BCP)
 - 「災害発生後の復旧復興対策」災害対応基本マニュアル(各区対策部)、公共施設の災害復旧、被災者支援など
 - 防災・危機管理対策についての総括
 - 防犯対策、交通安全対策
 - 食・地下水等の安心安全対策

財政運営のあり方に関する特別委員会

- 【調査目的】 大都市にふさわしい財政基盤の強化を図るための諸問題の調査を行うこと
- 【調査期間】 平成23年8月5日～平成26年12月8日
- 【調査概要】
 - 地方分権改革の流れについて
 - 新地方公会計制度について
 - 財政の中期見通しについて 今後の方針について
 - 財政運営に資する各局の具体的取り組みについて (総務局・企画振興局・財政局・健康福祉子ども局・環境局・農水商工局・観光文化交流局・都市建設局・教育委員会事務局)

平成27年第1回定例会提出議案の主な議決結果

議案番号・件名	会派別賛否							議決結果
	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	共産党	市政クラブ	日本教育自由クラブ	
議第1号 平成27年度熊本市一般会計予算	○	○	○	○	×	遅席	○	可決
議第22号 平成26年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第52号 熊本市個人市民税の控除対象となる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人を指定するための基準、手続等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第56号 熊本市立幼稚園条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	可決

議会活性化特別委員会

- 【調査目的】 議会活性化のための諸改革に関する調査を行うこと
- 【調査期間】 平成23年6月23日～平成27年1月14日
- 【調査概要】
 - 調査にあたっては、必要に応じパブリックコメントによる市民意見の聴取や専門的知見を活用した有識者の意見聴取、さらには、経済団体等の代表者から議員報酬や政務活動費のあり方について意見をもらうなど、幅広い民意の反映に努めた。
 - 資産公開条例や政治倫理条例、さらには議員定数のあり方や議会審議の充実を図るべく本市議会の会議規則及び委員会条例等について調査を行い、それぞれ制定ならびに一部改正を行った。
 - 代表質問の実施や質問形式の決定、政務活動費に関する使途基準等の見直しなど、議会活動のさらなる充実に向け一定の結論を見出すとともに、新たな議会構成の中でも引き続き議会活性化をテーマに論議し、不断の改革に取り組んでいく。

※報告書の詳細については、会議録をご覧ください。



第2回定例会は
6月18日(木)から開会

詳しい会議日程は熊本市議会ホームページをご覧ください。

熊本市議会

検索

編集後記



議会広報委員会(10名)／倉重徹委員長、田尻善裕副委員長、小佐井賀瑞宜委員、福永洋一委員、浜田大介委員、井本正広委員、田上辰也委員、田中敦朗委員、那須円委員、紫垣正仁委員

毎回の編集作業を行うにあたり、できるだけ多くの皆様にご覧いただけるよう腐心しております。市議会も本年4月に改選され、今後編集メンバーも新体制となりますが、今後も市民の皆様にとって親しみやすい紙面づくりをめざしてがんばります。

議会広報委員 浜田大介委員

発行／熊本市議会
編集・文責／熊本市議会広報委員会

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2684 議会事務局調査課
FAX.096-324-3284 第015号

電子メール E-mail gikaichousa@city.kumamoto.lg.jp